

国体主会場選定と下水道残土処分・土地改良事業の主な経緯

時 期	内 容
H22 年 7.22	土地改良事業認可（彦根市長）
H25 年 9.9 11.8	東側拡張区域を含む土地改良事業の工事着手 主会場選定専門委員会において、彦根総合運動場を含む候補地の検討を開始
H26 年 5.20 5.22 " 5.26 10.30 11.22 12.19 " "	主会場選定専門委員会（公開）で彦根を選定。 <u>敷地拡張が必要</u> との意見付与。 県議会特別委員会で主会場選定結果を報告 <u>※拡張区域の明示なし。</u> 東側拡張区域への下水道残土搬出契約締結（契約工期 H26.12.10） 国体開催準備委員会（公開）で彦根を主会場に決定。 <u>敷地拡張が必要</u> との意見付与。 自治会長説明会（公園整備の概要説明） <u>※拡張区域の明示なし。</u> 東側拡張区域への下水道残土搬出終了 県議会常任委員会で公園整備区域を報告 <u>※拡張区域(案)の公表</u> 自治会長説明会（公園整備区域の説明） 彦根市・土地改良区と協議（公園整備区域の説明・土地改良事業の進捗確認）
H27 年 3.9 3.26 8.28	県議会常任委員会で公園整備基本構想(案)を説明 公園整備基本構想を策定 <u>※拡張区域の決定</u> 公園整備基本計画を策定

主会場の選定(案)について

各候補地の比較検討および意見集約(評価)を踏まえ、法令や整備上の課題など施設整備の実現可能性、国体の運営、国体後の利活用も視野に入れた「日常性」「将来性」「地域への貢献」「スポーツの推進」の視点から総合的評価を行い、以下に示す「主会場選定(案)」のとおりに国体主会場として最もふさわしい地を選定した。

○主会場選定(案)

- 1 第 79 回国民体育大会の開・閉会式場および陸上競技会場(主会場)
彦根総合運動場とする。

◇主な選定理由

- 「日常性」
- ・ 地域住民の生活圏内にある。
 - ・ 国体開催後もいつでも、誰でも、気軽にスポーツに親しめる。
- 「将来性」
- ・ 近隣に小学校・中学校・高校・大学が集積。
 - ・ JR 駅から徒歩移動が可能。
 - ・ 名神高速道路 IC から近い。
 - ・ アクセスが良いため、継続的に多くの方が使える。
 - ・ 多目的な活用も見込める。
- 「地域への貢献」
- ・ 観光資源や大学や商業施設との連携により地域経済の活性化につながる。
 - ・ 琵琶湖、彦根城を活かし滋賀の魅力を発信できる。
- 「スポーツの推進」
- ・ 滋賀県のスポーツ推進を牽引してきている。
 - ・ 今後も滋賀県のスポーツ推進の中核施設として機能強化を図れる。

◇主会場施設整備に関する意見

- ・ 敷地の拡張や地盤整備、法規制への対応などが必要。
- ・ この対応には、県は地元彦根市との連携、協力が必要。
- ・ 施設整備にあたっては、彦根市とその周辺地域の歴史性、文化性との調和への配慮が必要。
- ・ 施設整備の全体スケジュールに遅れが生じないように取り組まれない。

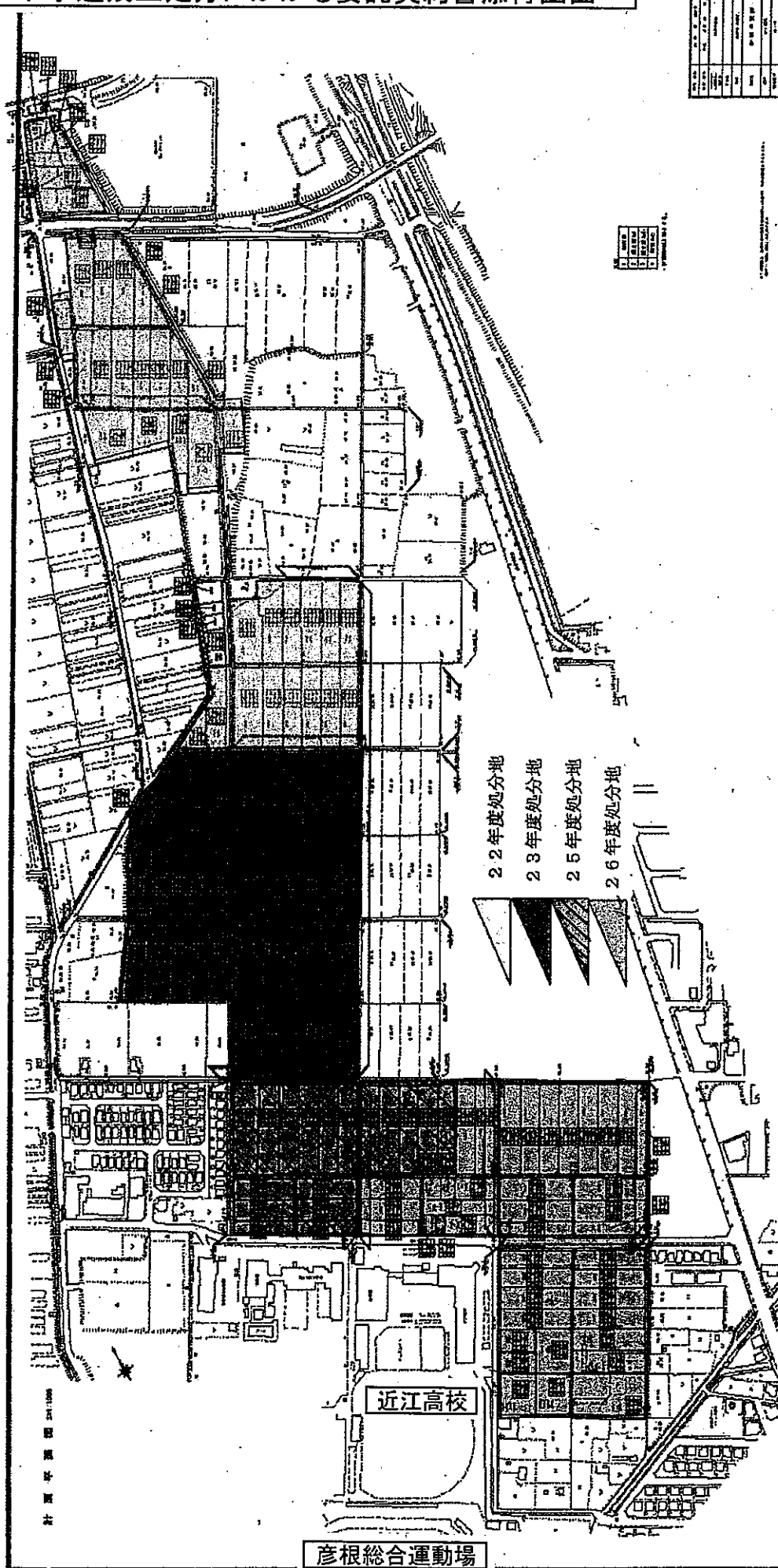
2 付帯意見

- ・ 希望が丘文化公園、びわこ文化公園都市は、本来のコンセプトや地の利などを活かすことで、より一層の活用が見込めると考えられることから、県においては、将来の滋賀県のスポーツ推進に向けて、それぞれの施設のあり方や活用方法を検討されたい。

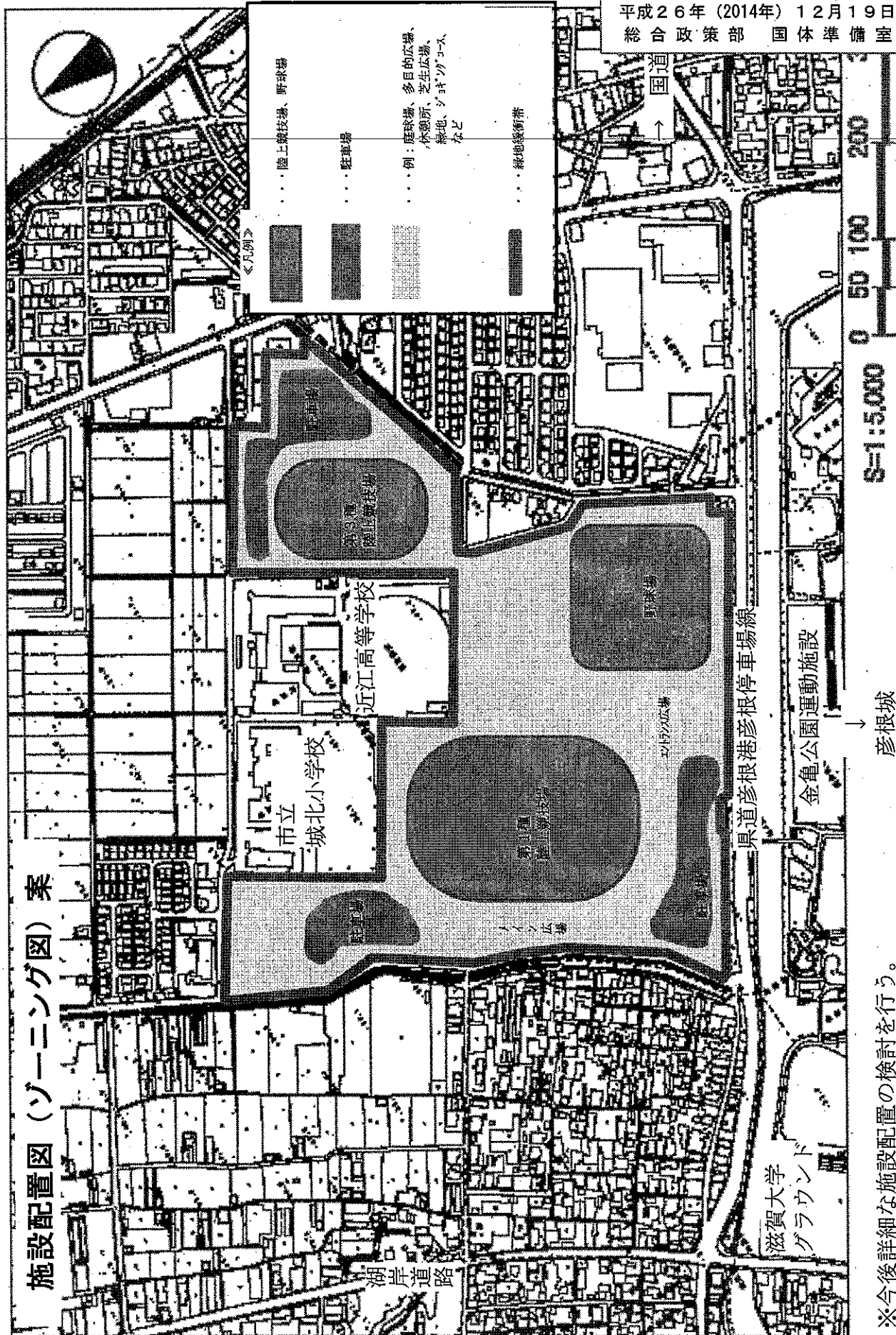
平成26年度処分予定地

下水道残土処分にかかる委託契約書添付図面

図面番号	図面名称	作成者	承認者	作成日	承認日
1-1	下水道残土処分にかかる委託契約書添付図面	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇/〇〇/〇〇	〇〇/〇〇/〇〇



施設配置図（ゾーニング図）案



政策・土木交通常任委員会 資料 4
平成26年(2014年)12月19日
総合政策部 国体準備室

※今後詳細な施設配置の検討を行う。